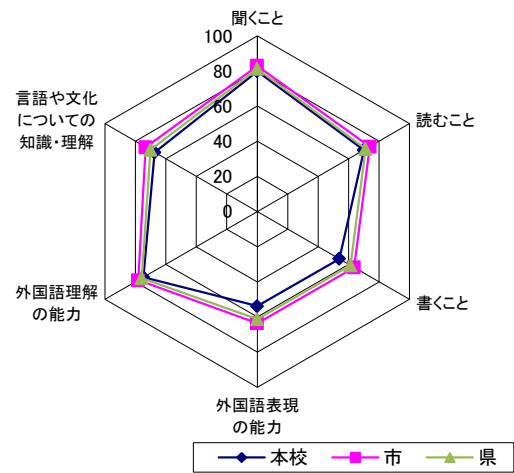


宇都宮市立陽南中学校 第2学年【英語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	聞くこと	79.8	82.9	81.2
	読むこと	70.0	73.9	71.2
	書くこと	53.8	63.6	61.2
観点	外国語表現の能力	53.8	63.6	61.2
	外国語理解の能力	74.7	78.1	75.9
	言語や文化についての知識・理解	67.3	73.2	70.1
内容	総合（教科全体）	66.7	72.6	70.3
	基礎（基礎・基本）	71.3	76.3	73.7
	活用（思考・判断・表現）	60.0	67.3	65.4



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	●対話文、まとまりのある文章などどのような題材の問題であっても正答率が県平均よりも若干下回っている。また、市平均と比すると3.1ポイントマイナスとその差が大きくなっている。 ●質疑応答形式の対話文など、比較的短めな題材であっても、文脈を理解して考える・答えるなどが苦手である。	・授業の中で、リスニング教材を積極的に活用するだけでなく、教科書本文のディクテーションを行うなど、英語音声の入力数を増やし、音声に対する苦手意識を払拭していく働きかけをしていく。 ・また、文全体でなく、単語レベルでの聞き取りができていないことも考えられるので、新出単語の導入時などに逐次発音指導を重ねていく。
読むこと	●長文の読み取り正答率が、市平均と比べて12.5ポイントも下回っている。対話文内の適語選択問題、長文内の指示語の読み取り問題などが特に正答率が低くなっている。	・長文を読むという経験そのものが不足していることはもちろん、文脈から適語を選ぶ問題等では、前後の文が語彙不足・文法の定着不足から読めない、理解できていないということも正答率の低下を招いていると予測できる。したがって、教科書のレッスン毎の長文教材や補助教材などを活用し、まとまりのある文章を読みこなす練習を重ねていく必要がある。
書くこと	●曜日・数字などの基本的な語彙を確認する問題の正答率が50ポイントに満たなかったものがある。語順選択問題でも、各設問で市平均と比しておおむねマイナス8ポイント前後下回っている。 ●記述式の条件作文問題では、県・市平均と比べ10ポイント以上のマイナスと、その差が非常に大きい。	・英作文の指導の前段階として、語彙の定着や文法指導といった基礎的な部分を、繰り返し細やかに指導することが肝要である。また、作文指導に関しては、ゼロから考えさせるのではなく、教科書内にある条件作文ページを活用したり、生徒の興味にもとづいた教材を用意したりするなど、生徒が主体的に書きたいと思わせる工夫も必要である。